



懸医師(左から2人目)高松医師(同3人目)とサポートスタッフ

もみの木ファミリー歯科

理想的な生活習慣提案

「よく噛める」が健康のもと

入し、血管を通して毒素が全身に運ばれていく。それが脳梗塞や心筋梗塞、肺炎、動脈硬化、糖尿病、早産、低体重児出産などを引き起こすとされており、注意しなくてはならない生活習慣病の一つだ。

懸医師は「虫歯もそうですが、歯周病も防げる病気です」と力を込める。そのため同院では、正しい食習慣や歯ブラッシングの提案をはじめ、定期クリーニングを積極的に勧めている。ホームケアでは、歯ブラシの届きにくい歯肉の奥のブラーク、歯と歯のすきまの磨き残しなどのクリーニングを、患者の状況に合わせて定期的に行っている。「美容室に行く感覚で歯のクリーニングに来ていただけるとうれしいです」と話している。

歯は、悪くなつてから治療するのではなく、悪くならないように予防していくことが理想とされているが、「実際は、悪くなつてから

来院される方もたくさんいます」と懸医師。どのタイミングでしっかり治療するかは、人によってさまざまだが、「適切な治療を行うことで健康に寄与し、歯の健康を通じて、一生おいしく食べていただくことが目標」と話し、「重要なのは、よく噛めること。入れ歯でもよく噛めている人は健康です」と説明する。

同院が、成人の虫歯予防と歯周病予防に力を入れているのが、乳幼児から大人の歯が生えそろうまでの定期健診。子どもたちを健全な永久歯列に導くためには、虫歯予防と正しい噛み合わせが重要で、3カ月に1回、虫歯のチェック、歯並びの診査、クリーニング、フッ素塗布を行っている。

また、産まれてから3歳半までの間に、虫歯菌や歯周病菌が、近親者から子どもに感染することが分かっており、懸医師は「ご両親のブラークコントロールも重要ですね」と、保護者への理解も求めている。一般歯科はもとより、口腔外科、インプラント治療など患者の口の中の悩みにオールマイティーに対応している。



プライバシーを尊重した半個室のユニット

虫歯予防と正しい噛み合わせが重要

歯科医師 高松 伸悟

釧路湖陵高校卒・北海道大学歯学部卒業。ちだ歯科クリニック勤務、北海道大志歯科院長を経て、2013年からもみの木ファミリー歯科勤務。

歯科医師 懸 隆

釧路湖陵高校卒・北海道大学歯学部卒業。江別の野幌インプラントセンター副所長、札幌で北山デンタルクリニック副院長、06年苫小牧でかほ木歯科医院院長を経て09年もみの木ファミリー歯科開院。日本顎咬合学会、北海道口腔医療研究会、日本顕微鏡歯科学会会員。

釧路市星が浦大通2丁目6番1号

びあざフクハラ星が浦店内

☎0154-55-3303

ホームページ <http://mominoki.ihome-net.com/home.html>

診療科目

歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科

診療時間

火・水・木・金・土曜日 9:30~13:00
14:30~19:30

休診日

日曜日・月曜日
祝祭日